

2026年3月期 第2四半期（中間期）

決算補足説明資料

***Nice* ナイス株式会社**

（証券コード：8089）

この説明資料には将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。
将来予測にはリスクや不確定な要因などが含まれており、実際の成果や業績は予想と異なる可能性があります。

おかげさまで創立75周年 ナイスグループのあゆみ



建築資材事業



1950

木材卸売業として創業



1959

建築資材全般の取り扱いを開始



1962

輸入木材の取り扱いを開始



2000

木材プレカット事業を開始



2011

エネルギー関連商品の取り扱いを開始



2014

国産木材製材事業を開始



2021

国産の原木の供給を開始



住宅事業



1971

住宅分譲事業を開始



1974

マンション管理事業を開始



1977

不動産仲介事業を開始



1988

不動産賃貸管理事業を開始



2009

中古住宅買取再販事業を開始



その他の事業



1984

建築資材向け経営管理システムを開発



1986

総合物流センターを開設



1992

建築工事業を開始



1993

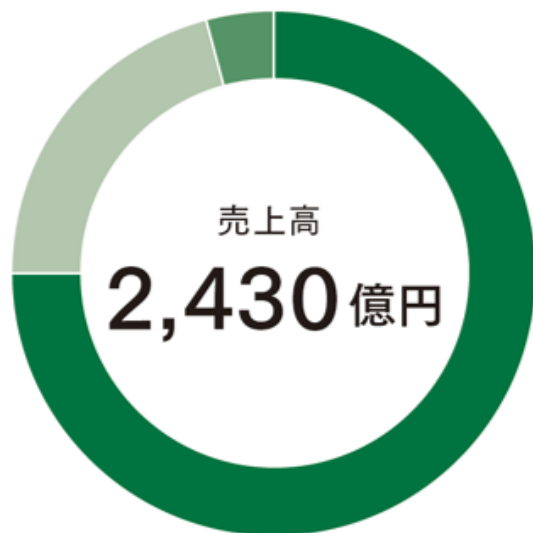
ケーブルテレビ局を開局



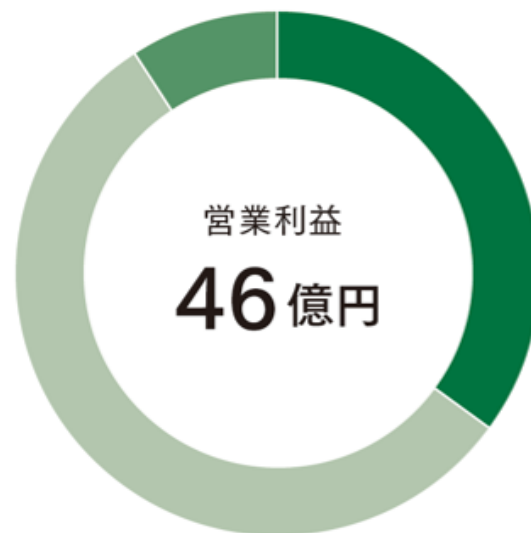
ナイスグループの業績と拠点展開



2025年3月期経営成績



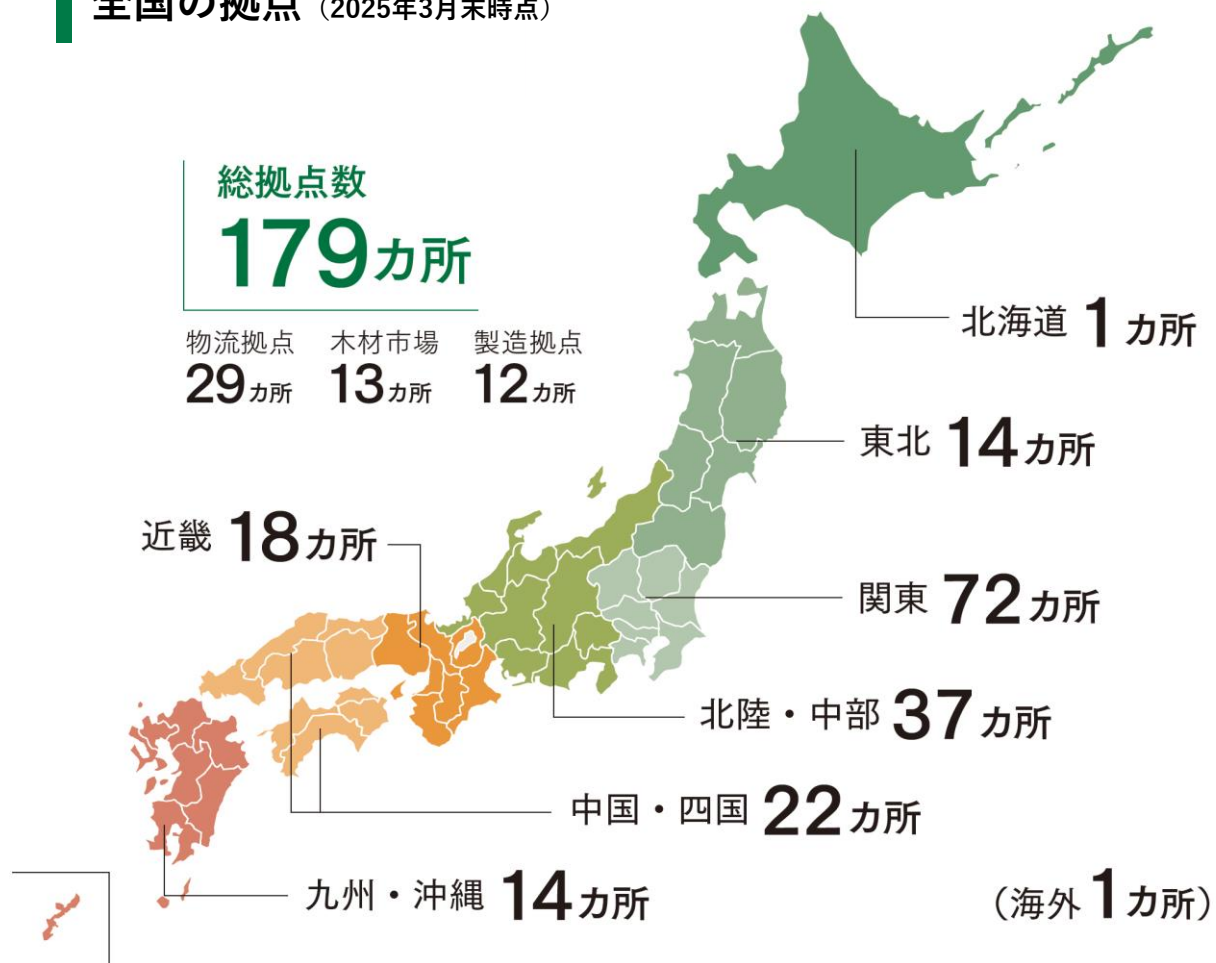
■ 建築資材セグメント	1,830 億円
■ 住宅セグメント	507 億円
■ その他	91 億円



■ 建築資材セグメント	22 億円
■ 住宅セグメント	35 億円
■ その他	6 億円

※数値は億円未満を切り捨てのため、合計が一致しない場合があります。
※営業利益はセグメント利益です。

全国の拠点 (2025年3月末時点)



目次

1. 2026年3月期 第2四半期（中間期） 連結業績
2. 2026年3月期 連結業績予想
3. Appendix

1. 2026年3月期 第2四半期（中間期） 連結業績

売上高が過去最高水準※

- ・各セグメント（建築資材・住宅・その他）がすべて増収増益
- ・売上高は前年同期比13.5%増の1,196億10百万円
- ・営業利益は前年同期比164.2%増の12億44百万円

建築資材事業の建材・住宅設備機器が伸長

- ・前第3四半期より連結子会社化した株式会社セレックスが増収増益に寄与

住宅事業の新築及び中古買取再販マンション等が堅調に推移

- ・新築及び中古買取再販マンション売上計上戸数が前年同期の74戸から114戸に54.1%増加

※前期以前のすべての中間期において、収益認識に関する会計基準等を適用したと仮定して算定した売上高は過去最高となりました。

連結業績 概要



(単位：百万円)	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減額	増減率（％）
売上高	105,347	119,610	+14,262	+13.5
営業利益	470	1,244	+773	+164.2
経常利益	310	1,065	+754	+242.9
親会社株主に帰属する 中間純利益	98	664	+566	+576.6
1株当たり中間純利益	8円31銭	55円94銭	+47円63銭	-
EBITDA ※	1,336	2,545	+1,208	+90.5

※ EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

売上高

- ・ 建築資材事業のサッシ・エクステリア等の販売が増加
- ・ 住宅事業の新築及び中古買取再販マンションの売上計上戸数が増加したほか、一棟収益物件の売上計上が寄与

営業利益

- ・ のれん償却等により販管費が増加したが、増収に伴う売上総利益の増加により増益

経常利益

- ・ 受取配当金と支払利息が増加、営業外収支は前年同期比でほぼ横ばい

親会社株主に帰属する 中間純利益

- ・ 投資有価証券売却益が発生した一方、法人税等が増加

セグメント別売上高

セグメント別売上高

(単位：百万円)	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減額	増減率 (%)
建築資材	83,574	93,795	+10,220	+12.2
住宅	17,553	20,101	+2,547	+14.5
その他	4,218	5,713	+1,494	+35.4
合計	105,347	119,610	+14,262	+13.5

建築資材

- ・ サッシ・エクステリア等の販売が増加
- ・ 建材・住宅設備機器の新規取引先が増加

住宅

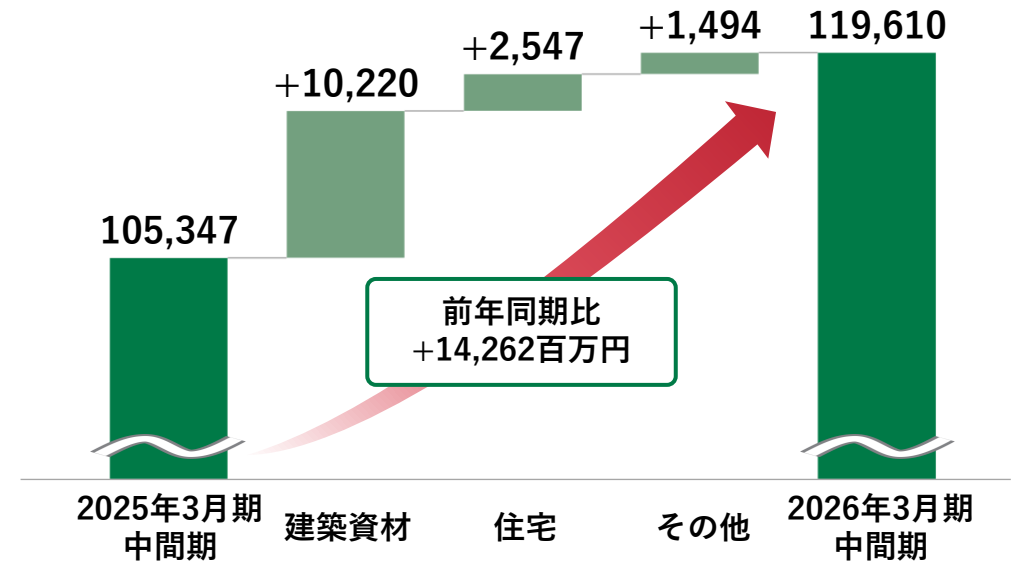
- ・ 新築及び中古買取再販マンションの売上計上戸数が増加
- ・ 賃貸管理事業が堅調に推移したことに加え、一棟収益物件の売上計上が寄与

その他

- ・ 建築工事事業等が堅調に推移

セグメント別売上高 増減要因（前年同期比）

(単位：百万円)



商品別売上高



(単位：百万円)		2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減額	増減率 (%)	
建築資材	木材	27,910	26,058	△1,851	△6.6	・ 主に輸入材の売上が減少
	建材・住宅設備機器	55,528	67,609	+12,080	+21.8	・ サッシ・エクステリア等の販売が増加 ・ 新規取引先が増加
	木材市場	135	127	△8	△6.0	
	合計	83,574	93,795	+10,220	+12.2	
住宅	マンション	3,421	5,519	+2,097	+61.3	・ 新築及び中古買取再販の売上計上戸数が増加
	一戸建住宅	4,640	4,056	△584	△12.6	・ 売上計上戸数が減少
	管理その他	9,491	10,525	+1,034	+10.9	・ 賃貸管理事業が堅調に推移したことに加え、 一棟収益物件の売上計上が寄与
	合計	17,553	20,101	+2,547	+14.5	

セグメント別営業利益



セグメント別営業利益

(単位：百万円)	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減額	増減率（％）
建築資材	680	910	+230	+33.9
住宅	411	637	+225	+54.9
その他	324	640	+316	+97.6
計	1,416	2,188	+772	+54.6
消去又は全社	△945	△944	+0	-
合計	470	1,244	+773	+164.2

建築資材

- ・増収により、支払運賃の増加やのれん償却を吸収して増益

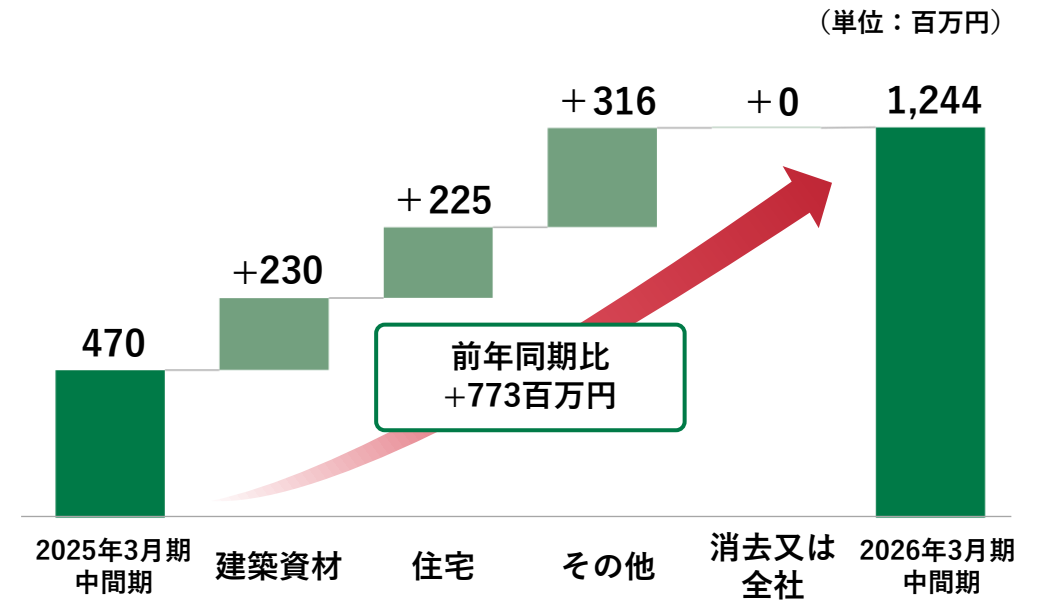
住宅

- ・新築及び中古買取再販マンションの売上計上戸数が増加
- ・賃貸管理事業が堅調に推移したほか、一棟収益物件の売上計上が寄与

その他

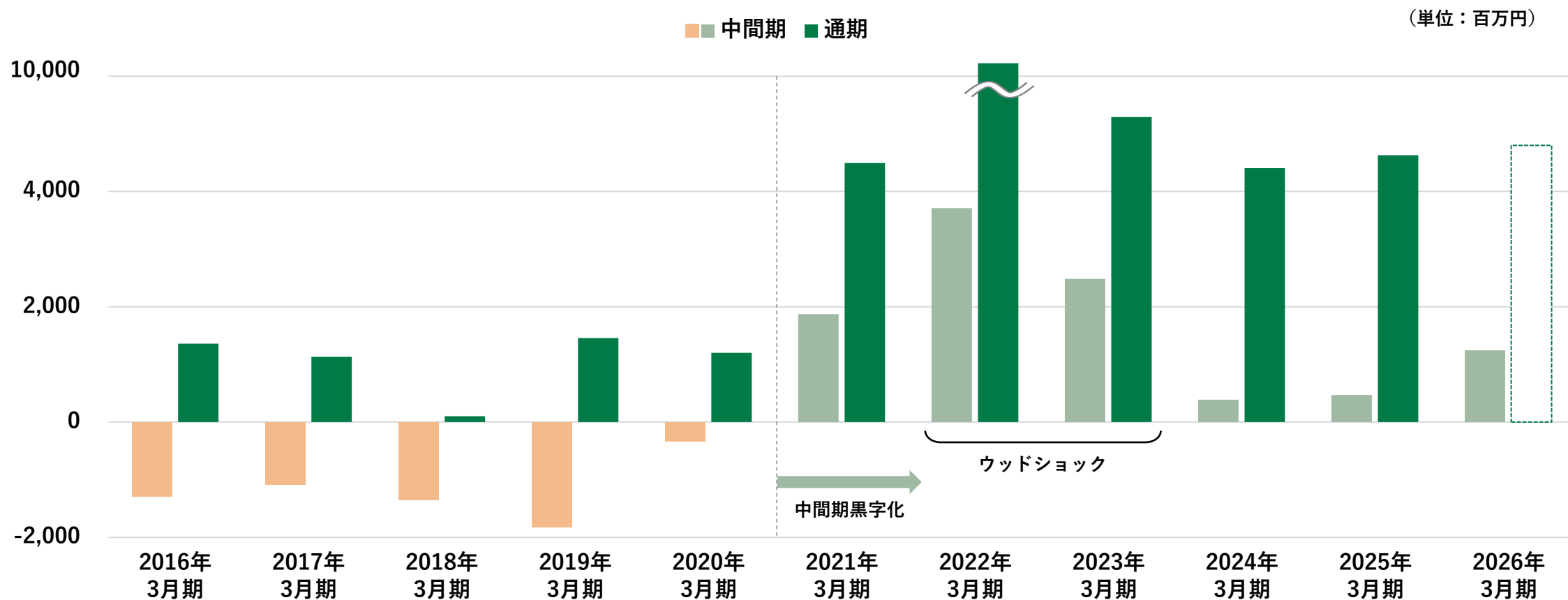
- ・建築工事事業等が堅調に推移

セグメント別営業利益 増減要因（前年同期比）



営業利益の推移

中間期は赤字の傾向であったが、徐々に利益の平準化が図られている



住宅セグメント 契約戸数・売上計上戸数



2025年3月期 中間期

(単位：戸)	① 契約済売上 未計上戸数 前連結会計年度末	② 契約戸数	③ 売上計上戸数	①＋②－③ 契約済売上 未計上戸数 中間 連結会計期間末
マンション	147	185	74	258
（新築）	(134)	(123)	(11)	(246)
（中古買取再販）	(13)	(62)	(63)	(12)
一戸建住宅	123	133	100	156
合計	270	318	174	414

2026年3月期 中間期

	④ 契約済売上 未計上戸数 前連結会計年度末	⑤ 契約戸数	⑥ 売上計上戸数	④＋⑤－⑥ 契約済売上 未計上戸数 中間 連結会計期間末
マンション	151	180	114	217
（新築）	(140)	(86)	(20)	(206)
（中古買取再販）	(11)	(94)	(94)	(11)
一戸建住宅	122	126	79	169
合計	273	306	193	386

マンション

- ・ 中古買取再販マンションの契約戸数が増加
- ・ 新築及び中古買取再販マンションの売上計上戸数が増加

一戸建住宅

- ・ 売上計上戸数が前年同期比で減少、契約済売上未計上戸数が前年同期比で増加



住宅セグメント 販売用不動産の内訳

(単位：百万円)		2025年3月期 期末残高	2026年3月期 中間期末残高	増減額	
住宅事業	完成販売用不動産	5,823	7,942	+2,119	・ 新築マンションの竣工により増加
	仕掛販売用不動産	9,013	12,484	+3,471	・ 新築マンションの建築工事進行 ・ 中古買取再販マンションの仕入の増加
	開発用不動産	7,778	9,813	+2,035	・ 新築分譲用地の増加
	合計	22,615	30,241	+7,625	
うち中古買取再販	完成販売用不動産	931	1,179	+247	
	仕掛販売用不動産	2,729	3,960	+1,230	
	合計	3,660	5,139	+1,478	・ 事業拡大による仕入の増加

連結貸借対照表 概要



(単位：百万円)		2025年3月期 期末残高	2026年3月期 中間期末残高	増減額	
資産	現金及び預金	25,567	21,978	△3,588	・ 仕入債務の支払により減少
	売上債権・契約資産	42,094	41,151	△942	
	商品	7,785	8,305	+520	・ 木材在庫が増加
	販売用不動産・未成工事支出金	23,239	30,964	+7,724	・ 新築分譲用地の取得及びマンションの建築工事 進行と中古買取再販マンションの仕入の増加
	有形固定資産	46,253	46,877	+623	
	資産合計	171,037	172,766	+1,729	
負債・純資産	仕入債務	44,572	39,839	△4,733	・ マンション工事費の決済等により減少
	借入金	41,903	49,242	+7,339	・ 販売用不動産の取得等に伴い増加
	負債合計	109,376	110,039	+663	
	純資産合計	61,661	62,727	+1,065	
	負債純資産合計	171,037	172,766	+1,729	
自己資本比率		32.9%	33.1%	+0.2pt	

連結キャッシュ・フロー計算書 概要



(単位：百万円)	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△11,407	△10,023	+1,384
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,466	△2,459	+1,006
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,361	6,750	+8,111
現金及び現金同等物の増減額	△16,299	△5,737	+10,562
現金及び現金同等物の中間期末残高	25,201	23,341	△1,860

主な増減理由

営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・新築分譲用地の取得及び新築マンション工事費の支払い
- ・中古買取再販マンションの仕入代金の支払い

投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・前期中に竣工した新工場の機械代金の支払い
- ・一棟収益物件用地の取得による土地代金の支払い

財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・新築分譲用地の取得等に伴う借入金の純増
- ・配当金の支払い

2. 2026年3月期 連結業績予想

2026年3月期 連結業績予想（概要）



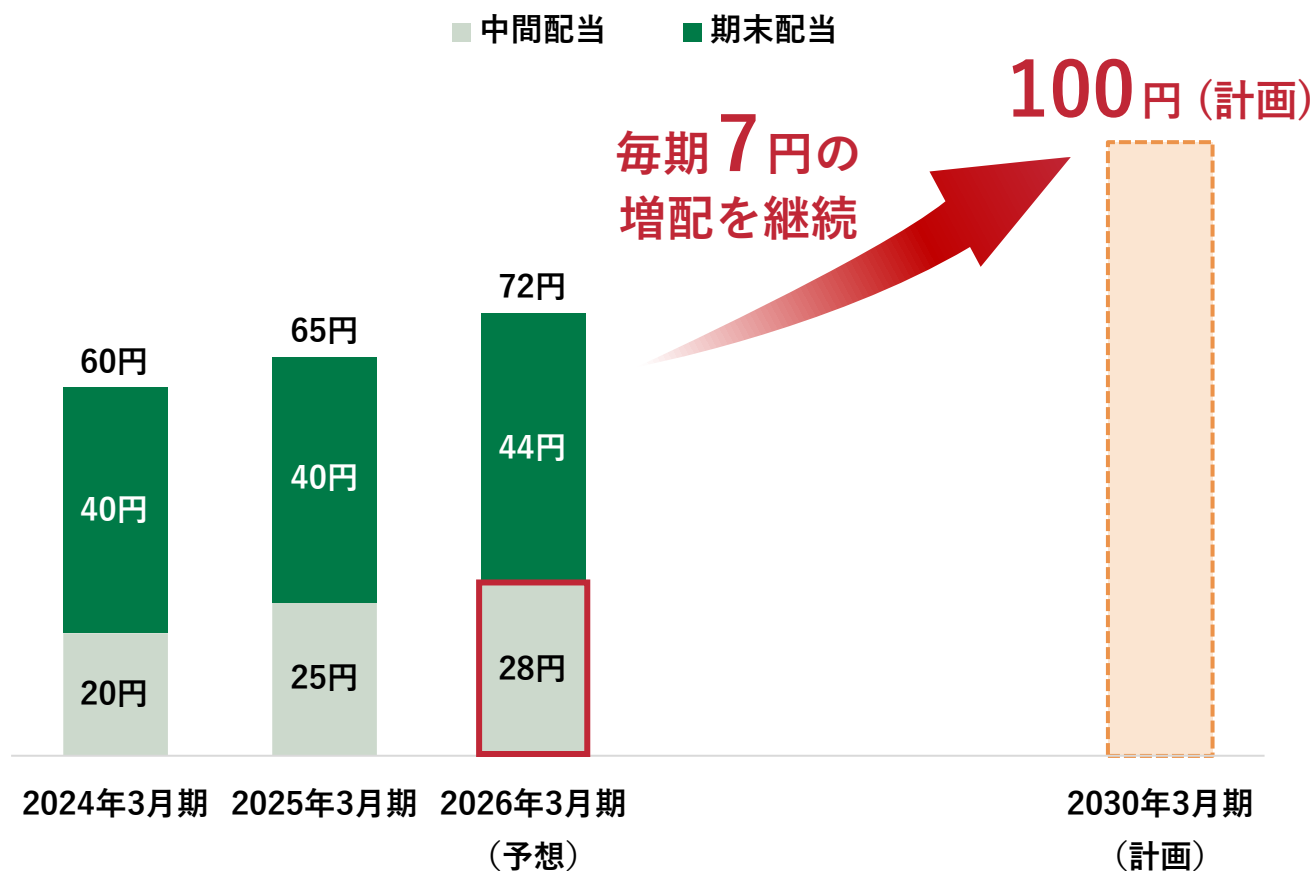
(単位：百万円)	2025年3月期 通期 (実績)	2026年3月期 通期 (予想)	2026年3月期 中間期 (実績)	進捗率 (%)
売上高	243,054	260,000	119,610	46.0
(建築資材セグメント)	(183,082)	(194,000)	(93,795)	(48.3)
(住宅セグメント)	(50,796)	(56,000)	(20,101)	(35.9)
(その他)	(9,174)	(10,000)	(5,713)	(57.1)
営業利益	4,628	4,800	1,244	25.9
経常利益	4,305	4,400	1,065	24.2
親会社株主に帰属する 当期（中間）純利益	2,872	3,000	664	22.2
EBITDA ※	6,680	7,000	2,545	36.4

※ EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

- ・ 2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において2025年5月14日に公表した予想数値から変更ありません。
- ・ 下期に売上計上予定のマンション・一戸建住宅の契約が堅調に進捗しており、売上高および利益の各項目についても、計画どおり推移しております。
- ・ 2025年10月、東京都足立区の賃貸管理会社「株式会社 新井商事ビル管理」の株式を取得いたしました。
これにより、ナイスグループの総賃貸管理戸数は約11,000戸超の体制となります。

中長期的な持続的成長を通じた累進配当を導入

2030年3月期まで毎期7円増配していく計画



株主優待制度

年に2回、株主優待を実施
保有株式数及び継続保有期間に応じて、以下のとおり緑の募金への寄付金付き「おもいやり」QUOカードを贈呈

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満 ※	3年以上 ※
100株以上 300株未満	QUOカード 500円	QUOカード 1,000円
300株以上 500株未満	QUOカード 1,000円	QUOカード 2,000円
500株以上	QUOカード 1,500円	QUOカード 3,000円

※「継続保有期間」は、基準日（毎年3月末日及び9月末日）において、同一の株主番号で各区分の最小株式数（100株、300株及び500株）を下回ることなく株主名簿に継続して記載された期間とします。



※イメージ画像

年2回贈呈

3. Appendix

Appendix - 中期経営計画Road to 2030 成長ドライバーの取り組み -



成長ドライバー 《賃貸管理》

東京都足立区の賃貸管理会社

「株式会社 新井商事ビル管理」の株式を取得

ナイスグループ賃貸管理戸数 約3,500戸増

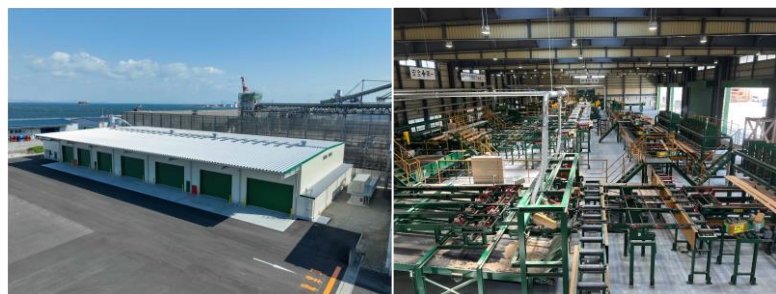
既存管理戸数
と合わせて…

約**11,000**戸超の管理体制

ストック事業の安定した収益・プラットフォームを基盤に、
周辺事業領域（売買仲介・一棟収益物件・買取再販・アパート建築）拡大を狙う

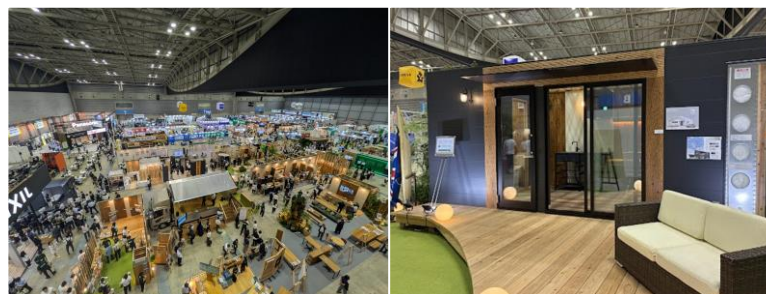
成長ドライバー 《国産木材の供給》

ウッドファースト(株) 第2工場竣工 年間90,000m³の原木消費量へ



成長ドライバー 《国産木材の供給・非住宅木造建築》

「木と暮らしの博覧会」開催 二日間で来場者7,887名



成長ドライバー 《中古マンション買取再販》

木質化リノベーションブランド「RIZ WOOD™」を発表



木を知り、 暮らしを支える。

木のそばに人がいて、
休むという字になるように。
木と人の安らぎは、切り離せないのかもしれない。
だからNICEはずっと木と人の間にいる。

まっすぐであること。
生命を守りぬく強さを持つこと。
それ以上の優しさで包むこと。
建築資材会社として木に学んできたそれらの思いを、
住宅会社として住まいづくりに活かしながら、
安らぎのある暮らしを支えてきた。
だから、暮らす人の「ああ、ほっとする」と笑う顔が、
何よりもうれしい。

NICEは、これからも、木を育て、木と育っていく。
この国の暮らしを支える大樹になることを目指して。
その木の下で、木漏れ日のなかで、
人々が人生を楽しむ姿を思い描きながら。



NICE ナイス株式会社